

日本原子力発電株式会社
取締役社長 村松 衛 殿

東海第2原発の再稼働宣言に対する抗議声明

2019年2月22日、日本原電の村松衛社長は茨城県へ入り、県、及び複数の自治体に対し「東海第2原発を再稼働する」意向を表明しました。私たち茨城県内の市民グループ・団体はこの無神経な振る舞いに強く抗議します。

本年1月13日から2月17日まで、茨城県主催、原子力規制庁による住民説明が実施されました。6ヶ所の会場で行われたこの住民説明会で、参加した茨城県民から出された意見、質問は、ほぼすべてが、「原子力規制委員会が東海第2原発に係る審査に許可・認可を与えたこと」への批判の声でした。この多くの茨城県民の反応は、福島原発事故の反省に立ち、「自分たちはどこで道を間違えたのか」、正しく認識した結果なのです。その認識に立てば、東海第2原発は絶対に再稼働してはならない原発だと判断できます。多くの茨城県民の反応はこの判断に基づいているのです。また近年実施された複数の世論調査でも茨城県民の過半数以上が東海第2原発の再稼働に反対しています。

村松社長はこの状況を知った上で今日の再稼働表明をしたのですか。

村松社長の視界に、茨城県民は入っていないのではないですか。

いま明らかになっているのは、茨城県において日本原電は地域と共生できていないことです。だとすれば、やるべきことは再稼働宣言ではなく、茨城県民との共生の道を探るべきではないですか。東海第2原発を再稼働せずとも存続できる企業の姿勢を示すべきではありませんか。

本日の東海第2原発・再稼働宣言に強く抗議し、この原発の運転再開を断念することを求めます。

2019年2月22日

抗議文・申入れ団体： **原発いらない茨城アクション実行委員会**

(連絡先：茨城県水戸市大工町3-4-24 電話：029-221-6811)

*抗議文・賛同団体 **42団体連名**

原発いらない茨城アクション実行委員会/ 脱原発ネットワーク茨城/ 原発とまちづくり研究会/ 茨城平和擁護県民会議/ さよなら原発いばらきネットワーク/ 茨城県平和委員会/ 脱原発とうかい塾/ 原発事故から暮らしを守るネットワーク/ さよなら原発ひたちなか市実行委員会/ 原電いばらき抗議アクション/ 東海第二相談会/ 臨界事故を語り継ぐ会 /常総生活協同組合/ 水戸平和フォーラム/ ひたちなか平和フォーラム/ かさま平和フォーラム/ 筑西平和フォーラム/ 県南平和フォーラム/

平和擁護土浦市民会議/ 反原子力茨城共同行動/ 反核平和原水禁鹿行会議/ I 女性会議茨城/ 社会民主党水戸総支部/ 県西平和擁護市民の会/ 東海第2原発差止訴訟訴訟団/ 茨城県労働組合総連合/ 石岡平和の会/ 石岡地域憲法9条の会/ 新石岡市を考える市民の会/ つくば市民放射能測定所/ 脱原発・東海第二原発の再稼働を考える会/ 安保法制に反対する筑波大学有志の会/ 希望のたね・みと/ 原発いらない牛久の会/ 全労連・全国一般労働組合茨城地方本部/ 東海第二原発再稼働ストップ日立市民の会/ ふくしまの子供達とつながる茨城保養の会/ 東海イレブンアクション/ 原子力資料情報室/ 原水爆禁止日本国民会議/ かながわ平和憲法を守る会/ 戦争をさせない茨城県1000人委員会

以上